

## はじめに

橋脚による水位上昇量は、河道の流下能力検討の一環として重要であり、種々の公式により算定される。ところが大量の流木が橋梁に集積した場合には、水位上昇量は遙かに大きく溢水破堤や取り付け道路崩壊等の危険性が高くなるため、これを精度よく見積もることが重要となってくる。流木の集積とそれによる水位上昇量の流木条件（流出量や太さ、長さ等）や橋梁諸元（径間、桁下余裕高等）との関係についてはまだ不明な点が多い。本報告書は、これを明らかにするために水理的検討を行い、河道計画や治水対策に活かすための参考となる資料を取り纏めたものである。